

ちょっと覗いてみませんか? ボランティア

ばらボラ

8・9月合併号

(通算第14号)

97.8.25

発行：東灘・地域助け合いネットワーク

TEL 078-843-4029 FAX 078-842-2907



夏!元気な子供たち

97年7月30日 住吉小学校にて

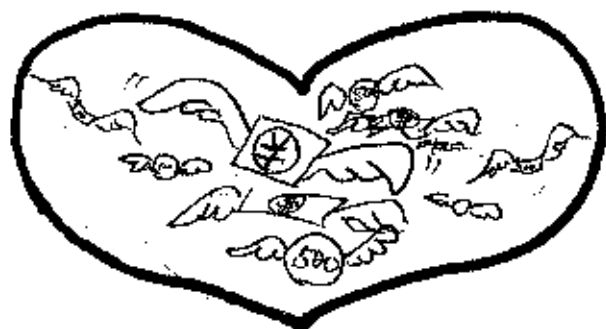
ボランティアを募集しています

東灘・地域助け合いネットワークでは地域の医院での「ふれあいサロン」、仮設住宅での「茶話やかタイム」、そして新しく始めた「美術館散歩」といった活動に、たくさんのボランティアが参加しています。

また、お話し相手、お買い物代行、通院介助、薬とり、荷物運びなどもしています。

月に1度でも週に1度でも、あなたの都合のつく時間でボランティア活動しませんか。

私たちの活動にご支援くださーい!



活動維持のためにご協力ください

銀行振込

さくら銀行 甲南支店

普通口座 3994604

口座名義 東灘・地域助け合いネット
ワーク中村順子

郵便振替口座

01140-9-88648

名称 東灘・地域助け合いネット
ワーク

この二年半、私たちは助成金と寄付金に支えられながら、地域活動をしてきました。高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせる街づくりや、仮設に住む方たちへの支援活動などを行なってきました。仮設住宅では退去者が増えるにつれて、残された人たちの不安が拡がっています。また恒久住宅に移った人たちのケアなどの新たな問題もかかえ、ボランティア活動の必要性は

ますます大きくなっています。

一方、震災から日が経つにつれて、寄せられる資金の集まりが少なくなっており、このままでは活動の維持が懸念される状況です。今の事務所の契約も来年の三月までです。その先は自分たちの力で構えなければいけないかもしれません。そうになると家賃や光熱費も必要になってきます。

平成8年度に寄せられた寄付金(13,512,834円)と助成金(3,304,000円)はこんなところに生かされています。



どうなる？ ふれあいサロン

昨年度の助成金二百万円に対し、今年度は五十四万円に減額。これではどんなにやりくりしてもおぼつかない状況です。阪神大震災直後、隣近所の係わり合いや助け合いの大切さを痛感した私たちは、あの経験を風化させたくありません。せうかく芽生えたふれあいサロンの小さな芽を共に温かく見守ってほしいのです。私達の地域活動の重要性を認めていただき、寄付金のご協力をお願いしたいと思えます。

ふれあいサロンは、現在東灘区十三ヶ所の医院で開催しています。医師から健康に関する話を聞き、ボランティアと手芸をしたり、歌を歌ったりの楽しい集いで高齢者の生き甲斐づくり、友達づくりの場として喜ばれています。おかげで活動は広まり、

参加者は毎月増える傾向にあり、今度中に二ヶ所ふやす計画もあります。(表参照)現状では活動を継続的に維持していくことは困難で、早急に他の助成金の申請も行っていきます。しかし例えそれが認められても、十分の活動資金ではありません。予算によって活動範囲は大きくもなり小さくもなります。

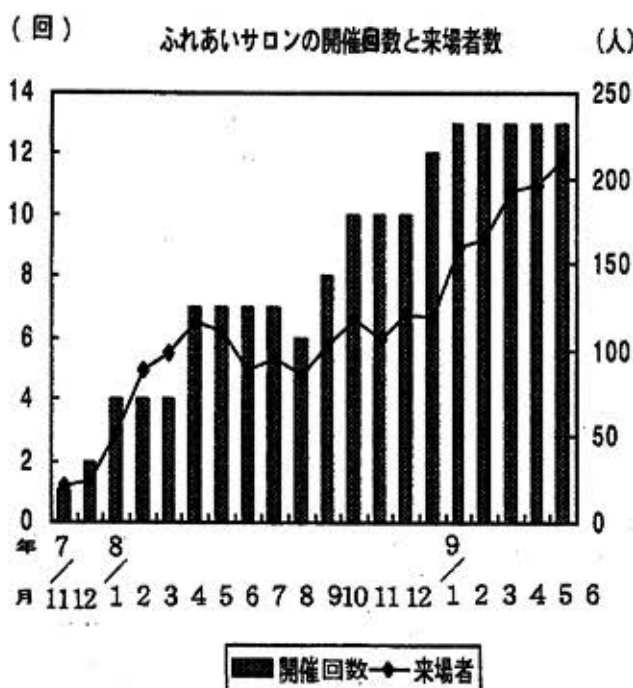
こんなに
切り詰めています

- ・チラシの作成も手作り
- ・講師はボランティアで
- ・手芸材料は安い店で
- ・お茶菓子は単価を下げ
- ・卸売市場でまとめ買い

交通費・移動費・事務用品などは今年度の予算では見込めません。それらは大きな割合を占めてきましたが、今期より大幅に見直しました。引きこもりがちな人や体の不自由な人をお誘いする

ための送迎車も運転手も必要です。サロンの参加者はボランティアや民生委員なども含めて月々約三百余名、今後も増え続けるのは確実です。

皆様のご支援
ありがとうございます。



97.6.21～97.8.20にご寄付、物品を
いただいた方たちです

飯田邦子 たんぽぽの会 小林允子
ヨシダテツコ 御旅公園仮設 動気会
斎藤文夫 椿一平 四辻清子
東京海上広島損害サービス部
滝澤英一 滝澤めぐみ

1997年9月

日 月 火 水 木 金 土

	1	2 ●ふれあいサロン (西崎眼科医院)	3	4 △ふれあいサロン 月例ミーティング	5	6
7 ●ふれあいサロン (浜中内科医院)	8 ●ふれあいサロン (河原医院)	9 ●ふれあいサロン (藤田内科)	10 ●ふれあいサロン (川島クリニック)	11 △ボランティア連絡会	12 ◇ボランティア C研修	13
14 ●ふれあいサロン (田中医院)	15 ●ふれあいサロン (御影仮設)	16 ●ふれあいサロン (深山医院)	17 ●ふれあいサロン (神尾小児科)	18 △地域ケアネットワー ク会議	19	20
21 ●ふれあいサロン (谷尻医院)	22 ●ふれあいサロン (有光医院)	23 ●ふれあいサロン (富地病院)	24 ●ふれあいサロン (高瀬内科)	25 ◇丹波の秋 ふれあいバスツアー	26	27
28 △月例連絡会	29 ●ふれあいサロン (藤田外科)	30 ●ふれあいサロン (手水仮設)	◇定期巡回、茶話会◇ 本庄中央仮設巡回 第2、第4月曜日 茶話会 第1、第3月曜日 六甲第5仮設巡回 毎週水、土曜日 六甲第2仮設巡回 毎週木曜日			

東灘・地域助け合いネットワーク ☎078-843-4029

七月二六日、

台風九号発生

この時期に、既に三度目の台風である。しかも、台風が過ぎても、いつまでも雨は降っている。私たちは台風の影響が心配で、本庄中央仮設に向かった。

ここは、当初は一三四世帯だったが、現在は六十数世帯に減っている。

外から見る限り雨による被害はなさそうで、ほうとした。高齢の病弱の方など、気がかりな方に声をかけをして、風の強かったときの様子を伺った。どなたからでも無事だったと答えをもらい安心する。脳梗塞のリハビリに励む岡田（仮名）さんは、二十数人と一緒に近くの集会所に



訪問日誌から

避難した時の様子を「にぎりをもろたしな。一晚とまてん。夜中は、あうちでいびき、こうちではおならプープーでな。おもしろかつたでえ。あんなにもエエもんや。」と余裕たっぷりに話して、一同、大笑い。

次に、瀬戸仮設に向かう。ここは日頃ネットワークが訪問していない。一ヶ所、雨樋から水が噴水のように噴き出しているところ、女性が孤軍奮闘して道路中央の砂利を整えていた。聞くと、風のための落ち葉で樋が詰まり、そのために水が噴き出してそれが床下に入るのだという。台風時には揺れの為に、近くにいる高齢の方が不安でふるえていたので一緒に小学校に避難されたという。

その女性は気丈に話をされていたのに、いつまでここにいないといけないのか。何時になったら公営住

宅が当たるのか。と、最後は涙ぐんでしまわれた。お話を聞き、瀬戸のここにも、巡回が出来れば良いのにと思いつながら帰路についた。

ふれあいサロン、茶話やかタイム、美術館散歩の準備なども活動記録として、表にあらわします。車両を使用している通院介助、外出介助と、昼食準備については六月よりCS神戸の仕事に移りました。

ありがとうございました

7月号でお願いしました事務所で使う電話機、多数のお申出をいただき早速使わせていただいています。ご協力ありがとうございました。



	サービス内容	4月	5月	6月	合計
生活支援活動	お話し相手	26	19	20	65
	通院送迎・介助	23	24	13	60
	外出介助	11	25	15	51
	薬取り代行	10	7	2	19
	買物代行	9	8	8	25
	引っ越し手伝い・荷物運び・荒ごみ出し	11	11	11	33
	簡単な修理・修繕	1	0	0	1
	仮設巡回	115	81	122	318
コミュニティ支援活動	ふれあいセンター	8	8	12	28
	茶話やかタイム	4	4	4	12
	ふれあいサロン	13	13	13	39
	美術館散歩	1	1	2	4
	心のオアシス（手水仮設）	1	1	1	3
	その他のイベント	1	0	1	2
	ふれあいサロン準備・打ち合わせ	10	5	9	24
	茶話やかタイム準備・打ち合わせ	2	2	1	5
	美術館散歩準備・打ち合わせ	1	0	1	2
情報処理提供活動	ボランティア研修	2	1	1	4
	「ばらボラ」発行（取材・編集・発送）	17	11	21	49
	パソコン事務処理	5	8	5	18
	外部会議出席	5	6	2	13
	講師・パネラー	0	0	0	0
その他	Vr送迎	19	23	22	64
	昼食準備	25	25	11	61
	サービス件数	320	283	297	900
	一日平均サービス件数	12	11	10	11
	参加ボランティア総数	446	417	392	1255
	一日平均ボランティア数	17	16	14	16
	今年度登録ボランティア数累計	15	17	15	47
	NW登録ボランティア総数	1,426	1,443	1,458	1,458

今月の
新規ボランティアは
21人でした

岩田幸恵さん

震災後体調がすっかり狂い、こんなことではいけないと勇気を出してボランティアに行くことを決心。多くの方に出会い学ぶことで自身のケアを受けることもできました。

宮本慎也さん

車椅子を押すのも初めて。下りの坂道でブレーキも使わずがちがちに固まっている僕が「ブレーキがあるからね。」と苦笑い。慣れない手つきの僕によく任してくれたと思いました。

山見英男さん

仮設の人を尋ねた時、毎日寂しい思いをされておられる方が我々の顔を見るととても喜んでくれます。こんなに喜んでもらえる毎日がとても充実して有意義です。

井上克己さん
道之前充直さん
久保純子さん
吉成和也さん
中雅里さん
藤本晃子さん
小田延子さん
吉田収さん
江川正久さん
井上多鶴子さん
井出尾洋一さん

西村文英さん
中平優子さん
雑賀香織さん
小西博和さん
野村聡子さん
前田晴子さん
中津聖子さん
黒田瑞さん
本多円さん
峰松高子さん

東灘・地域助け合いネットワーク
〒658 神戸市東灘区住吉東町
2-3-28 東灘区役所中庭事務所
TEL 078-843-4029
FAX 078-842-2907
e-mail
tasukeai@mx.meshnet.or.jp
http://www1.meshnet.or.jp/
~tasukeai/

どんな人? どんな人?

こうむらまさゆき
幸村正行さん 48歳
大阪府枚方市在住



土曜出勤をいわれても、「神戸に行くから」とキツパリ。

二年前の夏から毎週土曜日、片道一時間五〇分もかけて大阪からやってくる幸村さん。新聞でボランティア活動をよびかけるWAC・アクティブクラブの記事を見、紹介されたのが当ネットワークだった。

現在は六甲アイランドの仮設巡回を担当。何人ものボランティアが「巡回では幸村さんの門下生だ」と言っている。皆に何を言っているの? とたずねると「笑顔を絶やさないよう心がけることやね。」「仮設行くようになってから、会社でイヤなこと笑顔をできるようにしたしね」とにつこり。

実は幸村さん、十年ほど前に大

病にかかり手術の結果、一命をとりとめている。「治つてからは、人生は一回きりと思つてね。ボクも助かったから、今度は誰かを助けよう」と。少し照れくさそうな顔からは現在も不自由な体を抱え込んでいる様子は全くわからない。また震災直後、神戸に住む妹さんを気づかづて来た時の光景もボランティアにくるきつかけたと話す。

「ボランティアつてむずかしい思わんでも、一歩踏み出したなら楽なもんですよ。体が悪いから、と言つてるよりまずやつてみたらいいと思いますわ。」「お酒もうまいし」その笑顔とフットワークの軽さの秘訣が、少しわかつたような気がした。

◇研修の案内◇

B研修

日時 8月22日(金)
13時半から15時まで
講師 斎藤文夫先生
(臨床心理士)
内容 心理療法士を困らせてボランティアの心得、悩みなどを話しあう

C研修

日時 9月13日(土)
13時半から15時まで
講師 星野裕志さん
(当ネットワーク常任幹事)
内容 日常の活動の課題、疑問点などを話しあう

編集後記

- うちの犬が子供を産みました。
(竹内克仁)
- パソコンは私のいう事をなかなか聞いてくれない。
(上村光代)
- 合併号?
いつもと変わらぬ忙しい日々でした。(村山メイ子)
- ただ今産休中!
(住本有希子)

募集1.リサイクル

家具、木工製品、自転車、家庭用電気機具の補修、制作のできる方。



募集2.ドライバー

安全運転、送迎大好きという運転手！



あなたの技術・能力を応援します！

生きがいや仲間づくり、若干の収入につながるコミュニティ事業に参加しませんか？
地元の高齢者・障害者・震災失業の方々を優先的に、事業グループの応援をします。
グループ単位、個人の申し込みなど、常時受け付けていますので、
気軽にお電話ください。アイデアや意欲を事業化しましょう！

募集3.ミシン

オーバーロックミシンまでかけられるわよ！という方。



高齢者、障害者の方の衣服、袋物、インテリア用品、何でもつくります！



募集5

特に技術は無いけれど
アイデアや活動意欲
のある方！

細点・刺繍方法
資金支援あり

募集4.パソコン

ウィンドウズ 95なら
まかせなさい！
という方。



紹介くださるような方

コミュニティ・サポートセンター神戸 (CS神戸) 事業内容

CS神戸は阪神・淡路大震災で多大な被害にあった神戸市東灘区およびその周辺にて高齢者、障害者を中心とする地域住民を巻き込んだコミュニティづくりを行っている。1つは、共同の事務所やアトリエを使った、直轄インキュベーター事業の起業と支援である。シルバーであり、障害者であり、主婦であるメンバーが活動を通して生きがいを見い出すと同時に活動そのものも地域、あるいは社会に貢献できるようなプログラムを実施している。現在6つのグループに約70人が参加している。

2つ目にはコミュニティ活動の起業と支援である。さきのプログラムはCS神戸の直轄事業だが、このプログラムは地域住民自身の発案による地域のための独自事業の立ち上げを支援する。現在給食サービスグループと音楽療法グループを支援している。

3つ目にはコミュニティ活動の支援である。活動の意思がありながら継続的な活動が困難なグループに組織づくり、ノウハウなどの提供を行っている。いずれも拠点の提供、資金助成、コンサルテーションを通じた総合的な支援内容である。

その他上記の活動と平行して、各種の団体と連携し、現在7つの研究事業を行っている。コレクティブハウジングの研究、防災協定の研究、日本の市民運動に関する調査・研究、兵庫県下のボランティア団体の調査、英国のNPOをモデルとして国内のNPOの質的向上をはかる研究、またNPOのマネジメントスクールを立ち上げる準備と運営、外国人と地域の交流の場を提供しその役割を探るプログラムがある。また全国各地からの研修の受入や他団体との連携、ネットワーク、コーディネートなどは日常的な業務となっている。

7月19日移転しました。

コミュニティ・サポートセンター神戸

新住所：〒658神戸市東灘区住吉宮町2丁目19-21 コーベベビー本社敷地内

TEL:078-841-0310 FAX:078-841-0312 直轄事業共同事務所☎：078-841-0387

